

八木良太 | Lyota YAGI

1980 愛媛県生まれ
京都府在住

見たいものしか見ない・聞きたいことしか聞かないといった、我々の制限的な知覚システムあるいは態度に対する批判的思考をベースに作品制作を行う。既製品を用いて作品を構成し、その現れによって人間の知覚やそれを利用した工学的システムを浮かび上がらせるような作品を発表している。音響作品をはじめとして、オブジェや映像、インスタレーションからインタラクティブな作品など、表現手法は多岐にわたる。

2003 京都造形芸術大学 芸術学部 空間演出デザイン学科 卒業
2009 大阪大学 ウェブデザインユニット 特任研究員
2012 京都市立芸術大学大学院 美術研究科博士(後期) 過程彫刻専攻 単位取得満期退学
京都造形芸術大学 芸術学部 空間演出デザイン学科 専任講師

個展

2018 「What is Essential is Invisible to the Eye: Works of Lyota Yagi」 ADM Gallery、南洋理工大学、シンガポール
2017 「nightfall in UBUD」 芸術館 人間館ギャラリーオーブ2階、京都造形芸術大学、京都
2016 「メタ考古学」 無人島プロダクション、東京
2014 「サイエンス／フィクション」 神奈川県民ホールギャラリー、神奈川
2013 「Time Parallax」 無人島プロダクション、東京
2011 「scienceroom at workroom」 workroom*A、大阪
「高次からの眺め」 無人島プロダクション、東京
2010 「事象そのものへ」 無人島プロダクション、東京
2009 「制作と実験」 京都市立芸術大学、京都
2008 「回路」 無人島プロダクション、東京
「太陽」 SferaExhibition、京都
「エマージェンシーズ8 八木良太“回転”」 NTTインターコミュニケーションセンター、東京
「スタディーズ」 プロジェクトルーム・ササオ、秋田
2007 「直線か円環か積層か」 無人島プロダクション、東京
「クリテリウム70：八木良太」 水戸芸術館現代美術ギャラリー、茨城
2006 「文字の存在論のために」 ヴォイスギャラリーpfs、京都
「side b: waltz」 無人島プロダクション、東京
「side a: timer」 無人島プロダクション、東京

主なグループ展

2017 「The Imaginary Guide: Japan」 アート・アーセナル、キエフ、ウクライナ
「見立てと想像力ー千利休とマルセル・デュシャンへのオマージュ」 元淳風小学校、京都
「シュらん展'17」 町立久万美術館、愛媛
「Soundtracks」 サンフランシスコ近代美術館、サンフランシスコ、アメリカ
「Kyoto Okazaki Loops 音をとらえる」 京都ロームシアター1階プロムナード、京都
「さっぽろユキテラス2017」 札幌市北3条広場、北海道
2016 「木津川アート2016」 木津川市山城地域、京都
「六本木アートナイト2016」 六本木ヒルズ、東京
「六甲ミーツ・アート 芸術散歩2016」 六甲山、兵庫
「After the summertime」 statements、東京
「EDITIONS++」 無人島プロダクション、東京
「After the summertime」 statements、東京
「アートと考古学展ー物の声を、土の声を聴けー」 京都文化博物館、京都
「2016年度第1期常設展 記憶と気配ー2015年度新収蔵作品から」 高松市美術館、香川
「瀬戸内国際芸術祭2016」 小豆島、香川
「experimental studies 5 / 制作と実験 5 - 19世紀の発明から -」 京都造形芸術大学 瓜生館1F、京都
2015 「Sounds of Us」 Trafó Gallery、ブダペスト、ハンガリー
「本の空間 - ざわめきのたび」 京都精華大学ギャラリーフロール、京都
「Winter Garden: The Exploration of the Micropop Imagination in Contemporary Japanese Art」 コアラスペース、天津、中国
「六甲ミーツ・アート 芸術散歩2015」 六甲山各施設、兵庫
「10th MILDURA PALIMPSEST BIENNALE 2015」 Arts Mildura、オーストラリア
「われらの時代：ポスト工業化社会の美術」 金沢21世紀美術館、金沢
「phono/graph-音・文字・グラフィック-」 神戸アートビレッジセンター、兵庫
「MOVING 2015: foundation and application」 京都芸術センター ギャラリー南、京都
2014 「鉄道芸術祭vol.4 / 音のステーション」 アートエリアB1、大阪
「無人島∞」 無人島プロダクション、東京

- 「phono/graph」 ギンザ・グラフィック・ギャラリー、東京
「日常／オフレコ」 KAAAT 神奈川芸術劇場、神奈川
- 2013 「Once was Now, Now is Over, Yet will come」 Platform China Hong Kong、香港
「ARCTIC」 ルイジアナ近代美術館、フムレベック、デンマーク
「Acting Out of Nothingness: from the APT Collection」 DAIWA JAPAN HOUSE、ロンドン、イギリス
「Media/Art Kitchen - Reality Distortion Field」 インドネシア国立美術館、キネフォーラム、ジャカルタ、インドネシア (Map KL /Black Box、Publika/Art Row、クアラルンプール、マレーシア；アヤラ美術館、98B、Green Papaya Art Projects、マニラ、フィリピン；バンコク芸術文化センター、バンコク、タイへ巡回)
「ユーモアと飛躍」 岡崎市美術博物館、愛知
「trans×form -かたちをこえる」 国際芸術センター青森、青森
「堂島アートビエンナーレ-Little Water」 堂島リバーフォーラム、大阪
「アートがあればⅡ-9人のコレクターによる個人コレクションの場合」 東京オペラシティアートギャラリー、東京
「PATinKyoto 京都版画トリエンナーレ2013」 京都市美術館、京都
「DIGITAL ART」 OKUSAWA CONTEMPORARY ART AND DESIGN DOCUMENTS、東京
「KYOTO ARTISTS MEETING」 Antenna Media、京都
- 2012 「Pop Politics: Activism at 33 Revolutions」 Centro de Arte Dos de Mayo、マドリッド、スペイン
「MOBILE -モバイルの展覧会」 workroom*A、大阪
「アブストラと12人の芸術家」 大同倉庫、京都
「東京アートミーティング [第3回] /アートと音楽-新たな共感覚をもとめて」 東京都現代美術館、東京
「MOTコレクション 私たちの90年：1923-2013 ふりかえりつつ、前へ」 東京都現代美術館、東京
「(Another) Furniture Music - (別の) 家具の音楽」 音まち千住の縁、足立区、東京
「Stepping Stone 未来の選択のための今ここにつくる実験場所」 小山市立車屋美術館、栃木
「phono/graph -sound letters graphics-」 Dortmund U、ドルトムント、ドイツ
「henachoco拡大版」 workroom*A、大阪
「高松コンテンポラリーアート・アニュアル vol.02 -贈り物と交換-」 高松市美術館、香川
- 2011 「Is This Thing On?」 Contemporary Arts Center、オハイオ、アメリカ
「ヨコハマトリエンナーレ2011 OUR MAGIC HOUR」 横浜美術館、日本郵船海岸通倉庫 (BankART Studio NYK)、神奈川
「pet -group exhibition-」 workroom*A、大阪
「LOUDER THAN BOMB/YOUNGER THAN YESTERDAY -夾竹桃の村-」 ヴォイスギャラリー、京都
「MOT アニュアル 2011-世界の深さのはかり方」 東京都現代美術館、東京
「耳をすまして-美術と音楽の交差点」 茨城県近代美術館、茨城
「GRAPHIC WEST 3: phono/graph -音・文字・グラフィック-」 dddギャラリー、大阪
- 2010 「Against Easy Listening」 1a space、香港
「つながる／つなげる-愛媛ゆかりの芸術家たち」 愛媛県美術館、愛媛
「Move on Asia: Three Minutes of Sealed Time」 Gallery LOOP、ソウル、韓国
「The Record: Contemporary Art and Vinyl」 The Nasher Museum of Art at Duke University、ノースカロライナ、アメリカ
「音が描く風景／風景が描く音：鈴木昭男・八木良太」 横浜市民ギャラリー、神奈川
「移動～無人島in高円寺での最初で最後のグループ展」 無人島プロダクション、東京
- 2009 「NOTE」 MUROMACHI ART COURT、京都
「サイレント」 広島市現代美術館、広島
「visible and invisible」 ヴォイズギャラリー、京都
「ヨコハマ・フォト・トライアングル：Photo Communication」 (朝海陽子とのコラボレーション)、横浜市民ギャラリーあざみ野、神奈川
「Next Reality / 次なる現実」 ヨコハマ・クリエイティブシティ・センター、神奈川
「Winter Garden: The Exploration of the Micropop Imagination in Contemporary Japanese Art」 ケルン日本文化会館、ケルン、ドイツ (16ヶ国21ヶ所へ巡回)
「ウィンター・ガーデン：日本現代美術におけるマイクロポップ的想像力の展開」 原美術館、東京
「Re:Membering - Next of Japan」 DOOSAN GALLERY / GALLERY LOOP、ソウル、韓国
「金氏撤平展：溶け出す都市、空白の森」 (金氏撤平とのコラボレーション作品の展示)、横浜美術館、神奈川
- 2008 「鴻池朋子展：異界からの客人」 (鴻池朋子とのコラボレーション作品の展示)、松涛庵、山宇亭 (金沢21世紀美術館)、旧中村邸、梅庵、石川
「おのがきビエンナーレ2008 流れる live stream」 大垣市内各所、岐阜
「コバルトブルーを追いかけて (Tシャツ展)」 ZENSHI、東京
「音箱展」 神戸アートビレッジセンター、兵庫
「想画考6 photography」 ヴォイスギャラリー-pfs、京都
「鴻池朋子展：隠れマウンテン&ザ・ロッジ」 (鴻池朋子とのコラボレーション作品の展示)、ミヅマアートギャラリー、東京
- 2007 「New Tokyo Contemporaries」 (marunouchi) HOUSE、東京
「Exhibition as media (メディアとしての展覧会)」 (アーツイニシアティブ・プロジェクトvol.1)、神戸アートビレッジセンター、兵庫
「混沌から躍り出る星たち 2007特別編」 スパイラルガーデン、東京
「レディメイドリミックス」 ヴォイスギャラリー-pfs、京都
「臈月の荘厳」 京都芸術センター、京都

- 「Arte Povera Now and Then – Perspectives for a New Guerrilla Art」 ESSO gallery、ニューヨーク、アメリカ
 「オルゴール・アート作品大賞2007 作品展」 オルゴールミュージアム、兵庫
 2006 「Aランチ」 AXIS GALLERY ANNEX、東京
 「art in transit vol.9」 the Palace Side Hotel、京都
 2005 「神戸アートアニュアル 2005」 神戸アートビレッジセンター、兵庫
 「casa sugimoto 2005」 杉本家住宅、京都
 「stereorium」 ARTZONE、京都
 「multiplex! Multiple market」 ヴォイスギャラリー、京都
 2004 「CHIMASKI DESIGN」 ARTZONE、京都
 「混沌から躍り出る星たち」 スパイラルガーデン、東京
 「PAPER WORKS～小品に見る紙造形の可能性～」 京都芸術センター、京都
 「仕舞う～銭湯の帰り道～」 ヴォイスギャラリー、京都
 「装飾は罪悪か？」 ジュネーブ応用芸術大学ギャラリー、ジュネーブ、スイス

プロジェクト

- 2011 「02.1_VOLUME: the world of agnès b. / ART FACADE PROJECT」 agnès b.、東京

フェローシップ

- 2010 ACC (Asian Cultural Council) の助成により半年間ニューヨークに滞在、Location Oneレジデンス プログラムに参加

受賞歴

- 2015 「六甲ミーツ・アート 芸術散歩2015 六甲ミーツ・アート大賞」 グランプリ
 「六甲ミーツ・アート 芸術散歩2015」 主催者特別賞
 2013 「PATinKyoto 京都版画トリエンナーレ2013」 優秀賞

パブリックコレクション

San Francisco Museum of Modern Art (アメリカ合衆国)
 高松市美術館
 CA2M Centro de Arte Dos de Mayo (スペイン)
 国際交流基金
 愛媛県美術館
 東京都現代美術館
 横浜美術館

DVD

- 2008 「time cosmique」

書籍

- 2014 「サイエンス／フィクション」 神奈川県民ホールギャラリー